事業番号	05 05 01	事業改善シート(24年度実施事業分)		予算要求 []予算案 ■点検
事業名	公園管理事業費			部局	環境部
尹 未 乜			担当課	課·室	自然保護課
<参考>	プロジェクト 2 農山村産業クラスター形成プロジェクト			E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年	施策の総合的展開	3-2 豊かな自然環境の保全			
計画	旭水・小心日町桜田	2 自然環境の保全	PIN	実施期間	S59 ~

1 事業の概要

目指す姿	自然公園の優れた風致景観を維持し後世に伝えるとともに、多くの県民が自然保護意識を高めながら、自然と触れ合うことによる安らぎや感動を得る。
現状	○自然保護の普及啓発の拠点となる自然保護センターの維持管理○優れた自然環境や風致景観をもつ自然公園を維持するための許認可事務○自然と触れ合うための機会の提供○自然公園の巡視等を行う自然保護レンジャーの委嘱
県が関与 する理由	■法令等義務 □内部管理 ■県でなければ実施不可 【左記の説明、根拠法令等】 ■民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 □その他()
	① 成果目標(H24) 自然保護センターの来館者数:81千人

事業内容

(単位:千円) ② 事業内容 H24 H25 項目 実施方法 H24事業実績 (当初) (決算) (当初) 委託 ・県下4か所の自然保護センターの管理、運営、委託 自然保護センター管理運営事業 8,726 8,397 13,861 直接 直接 ・自然保護センターの地下タンク撤去(霧ヶ峰、乗鞍) 自然保護センター緊急修繕事業 4,103 4,377 統合 ・国定公園に公園管理員を配置し、美ヶ原周辺におけ 直接 国定公園自然環境保全対策事業 3,584 2,880 441 る植生被害対策などを行う 自然公園の利用指導等を行うボランティアにかかる保 自然保護レンジャー 直接 427 373 228 直接 美ヶ原管理小屋借地料、給水施設管理委託 美ヶ原台上施設管理 220 177 259 委託 各種負担金 上高地自動車利用適正化協議会等に対する負担金 負担金 3,060 2,780 2,750 事務経費(経常) 直接 電話代、コピー代等 1,114 1,102 1,164 合計 21,222 20,148 18,653

	Σ	区 分(単位:千円)		22年度	23年度	24年度	25年度
			前年度繰越	0	0	0	0
	予算		当初予算	26,861	28,646	21,222	18,653
事	額		補正予算		1,037		
業			合計(A)	26,861	29,683	21,222	18,653
> C			国庫支出金				
⊐	Aσ.		県 債				
7	財源	亰	その他()	13,592	15,401	4,034	4,708
ス			一般財源	13,269	14,282	17,188	13,945
۲	決	1	算 額(B)	26,658	28,291	20,148	
	概 第		職員数(人)	3.70	3.70	3.70	3.70
			概算人件費 (C)	30,773	30,555	30,555	30,555
	概算事業費(B(A)+C)		57,431	58,846	50,703	49,208	

成果目標の達成状況					
項目	現況 (見込)		H25		
グロ		目標	成果	達成状況	目標
自然保護センター来館者数	81	81	78	未達成	82

目標に対 する成果 の状況

・天候等の要因により、自然保護センター来館者の減少が見られたものの、自然公園の適正利用に関する取組は、従前のとおり実施して いる。

・平成25年度からセンターを中心に活動するパークボランティアの活動内容の紹介を行い、自然保護センターへの関心を高めると共に、フ ンケートを実施し、施設運営上の課題の把握に努め、今後の魅力向上の参考とする。

2 今後の事業の方向性

今後, 事業
ナビのトラ
をとのよう
今後、事業 をどのよう にしていき
たいか。

□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施

自然公園の優れた風致景観を維持し後世に伝えるため、自然保護意識の向上の拠点となる自然保護センターを今後も維持するとともに、 自然公園の利用者に対する指導を継続して行っていきたい。